

One Control BLUE 360 AIAB

User Guide ユーザーガイド

CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、ブルーサンロクゼロエーアイエービーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の性能を十分に発揮するため、

また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。



ベースのダイナミクスレンジをほとんど変えず、ベースのトレブルディティールを忠実に出力し、ほとんどクリーンに聞こえるが、よく聞くと歪んでいる。そんな音を BLUE 360 AIABで再現することができた。ベースの音楽的な表現力を広げることも、強力なリズムベースやソロベースにも使えるだろう。ベース本来の音にアクセスするだけでなく、クラシックなトーンを作ることができる。特に歪んだギターと合わせて高密度でパワフルなバンドサウンドを作るには最適だ。

——Bjorn Juhl

One Control BLUE 360 AIAB

User Guide ユーザーガイド
CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、ブルーサンロックゼロエーアイエービーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮するため、
また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。

エレクトリックベースの多彩なプレイを開拓し、ベーシストであれば誰もがその影響を受けているとさえ言われる伝説のベースサウンド。
その音色を支えたアンプは、伝説でありベーシストの憧れです。

One Control BLUE 360 AIAB は、“360”ベースプリアンプユニットと、400W パワードキャビネット“361”のセットが生み出したトーンを再現します。

●“360+361”ベースアンプ

ロックが怪物へと成長しはじめた 1970 年代、大出力ギターアンプの生み出す歪んだサウンドとマッチし、密度の高いバンドサウンドを生み出すためのベーストーンが求められました。ゲインが高くてもディティールが残るギターと違い、はっきりと音程感を維持したままラウドなベーストーンを作るには、簡単には歪まないアンプが必要です。簡単に歪んでしまわないためにトランジスタパワーアンプを使用し、100W クラスの真空管ギターアンプとマッチする大音量を出力し、さらにダイナミクスレンジも維持するためには 400W クラスの出力が必要となります。
“360”プリアンプユニットと“361”の大型パワーアンプを底部に搭載したキャビネットという独特の構造は、70 年代の技術でロックサウンドに最適かつ最高のベーストーンを作るために開発されたものであり、だからこそ伝説の天才ベーシストのパートナーとして選ばれ、そして誰もが目指すベーストーンとなったのです。

●最高のベーストーン

BLUE 360 AIAB は、“360”プリアンプユニットをクリーンに設定し、EQ をフラットにしたトーンを基本に開発しています。

伝説のベーストーンは、完全なクリーンではなく、わずかに歪みながら音程感を失わないダイナミクスレンジを維持したトーンです。簡単に 1000W クラスの出力が得られる現代のハイテクベースアンプではなく、当時の 400W トランジスタアンプが生み出した、“わずかに歪んだベーストーン”は、それ自体がロックベーストーンのアイコンとなり、あのプリプリとした“360”の音色として知られ、そして目標とされました。

BLUE 360 AIAB は、トラディショナルで最高のロックベーストーンを作ります。

現代のベースアンプや DI からのラインアウトでも当時の音色を作ることができるよう、新たに設計した 3 バンドイコライザーを搭載しています。

BLUE 360 AIAB の MID を下げれば、簡単にクラシックなベーストーンを作ることができ、VOL を上げればわずかな歪みと倍音を加えることができます。モダンなハイファイベースアンプでは、アンプ側のツイーターを使用せず、BLUE 360 AIAB の TREBLE を上げることでクラシックなベーストーンを作ることができます。

●-18dB モード

BLUE 360 AIAB には、側面のスイッチで-18dB モードに設定することができます。スイッチを上側にすると、-18dB モードとなります。

このモードは、とても特殊なモードです。一般的なオーバードライブのように BLUE 360 AIAB をアンプにつないで-18dB モードにすると、おそらく多くのベースプレイヤーが驚くのではないのでしょうか。

このモードは、他のエフェクターと組み合わせたり、歪みややすいアンプと組み合わせる際に使用します。そして、このモードではすべてのノブをフルアップにした状態から音を作ります。

“360”アンプは、簡単に歪まないベースサウンドでダイナミクスを表現できるアンプです。BLUE 360 AIAB で出力を高めると、それは結果的にアンプを歪ませることになります。しかし、簡単にアンプが歪んでしまえば、他のベースドライブやファズ、プリアンプなどを“360”アンプで鳴らしたときの音を作ることが難しくなります。-18dB モードでは、ボリューム最大でほぼユニティゲイン (OFF 時の音量) となるように設計されています。アンプの特性やイコライジング等により、音量が下がって聞こえることすらあるかもしれません。そこに他の歪みを組み合わせると、まさに“360”とエフェクターを組み合わせたサウンドが得られます。簡単には音を歪ませない。“360”と“361”の理念をエフェクターで実現するために設置した、BLUE 360 AIAB ならではのモードです。

側面のスライドスイッチはアウトプット端子の下にあります。これは、演奏中に切り替えることを目的とはしていません。-18dB モードでお使いになり、音量が足りないと感じるならアンプや後段のプリアンプの音量を上げます。その状態を基本の音として作っていただくことを前提としています。

一般的な歪みエフェクターとしてのご使用や、DI などと組み合わせてのプリアンプとして BLUE 360 AIAB をご使用になる際は、側面のスイッチを下側に設定していただくことで、ボリュームブーストが可能となります。

●特徴

- ・伝説の“360”プリアンプ/“361”パワードキャビネットのサウンドを再現
- ・クラシックなベースサウンドを作る 3 バンドイコライザー
- ・オリジナルモデルの理念を表現する-18dB モード

●コントロール

VOL: 全体の音量を調整します。-18dB モードでは最大設定でほぼユニティゲインとなります。

TREBLE: 3kHz を中心に-26dB ~ +20dB までの範囲で調整します。

MID: 600Hz を中心に-15dB ~ -6dB までの範囲で調整します。

BASS: 32Hz を中心に-26dB ~ +6dB までの範囲で調整します。

スライドスイッチ: -18dB モードの ON/OFF を切り替えます。

●スペック

インプットインピーダンス: 250K

アウトプットインピーダンス: 20K

駆動電圧: 9V

消費電流: 1.5mA

S/N 比: 90dB

サイズ: 39Wx100Dx31H mm(突起含まず)

47Wx100Dx48H mm(突起含む)

重量: およそ 160 グラム(電池挿入時 200 グラム)

※電池は付属しません。